
宇都宮大学の

学びのカタチ

2023 ▶ 2026

WUSTD

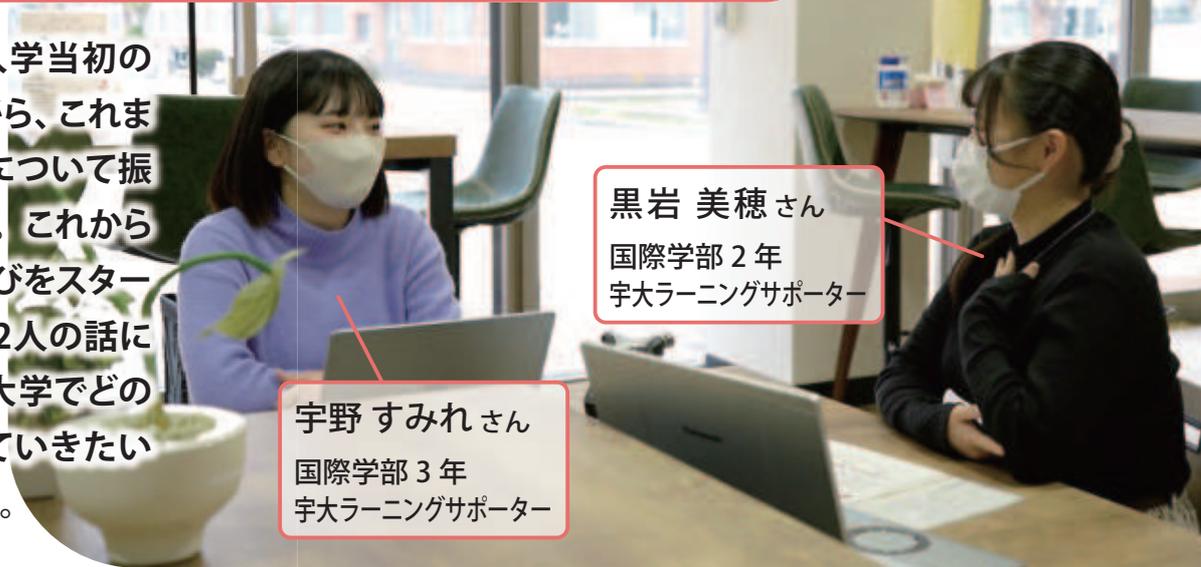
宇大スタンダード

すべての宇大生に身につけて欲しい力



宇大生が語る「学びのカタチ」

2人の宇大生に、入学当初のことを思い出しながら、これまで進めてきた学びについて振り返って頂きました。これから宇都宮大学での学びをスタートさせる皆さんは、2人の話に耳を傾け、宇都宮大学でどのような学びを進めていきたいか考えてみて下さい。



黒岩 美穂さん

国際学部 2年
宇大ラーニングサポーター

宇野 すみれさん

国際学部 3年
宇大ラーニングサポーター

大学では自分の学びを自分自身で決める必要がある：学修力の向上が不可欠

宇野 1年生のときは授業の内容も形態もわからないことばかりだったので、友達と相談しながら履修する科目を考えていました。その後、基盤教育で開講されている様々な分野の授業を履修し学修を進めることで、自分自身の興味がどこにあるのか、どのような授業を取ると自分のためになるのか把握できるようになり、学修力の向上に繋がりましたね。

黒岩 私は入学当初は友達がいなかったので、最初から自分の興味に沿って履修する科目を選びました。宇野さんのように、学びながら徐々に自分の興味関心を具体化していくのも学修力だと思いますし、私のように人に頼らず情報を集め、どのような学びをしていけばいいか考えていくことも、学修力や情報活用力を高めることに繋がったと思います。

宇野 大学では自分でどの授業を取るかを決め、学修計画を立てなければならないというのが、高校までとは大きく異なる点ではないでしょうか。

黒岩 そうですね。大学の先生は学生の状況を逐一確認してくれるわけではないので、常に自分が何をすべきなのか考えながら学修するようになりました。

自ら行動し情報にアクセスすることで選択肢が広がる：情報活用力の発揮

宇野 友達と相談しながらも、キャリアセンターなどの窓口に出向き自ら情報収集してきたことで、授業以外でも積極的に行動する自信がついたと思います。

黒岩 大学には多くの選択肢がありますが、自分から情報にアクセスしないと、選択肢は狭まってしまふと思います。行動することで、選択肢や視野が広がるだけでなく、自立することもできたと思います。

新たな環境に身を置くことで多様な考え方を知る：課外活動も重要

黒岩 高校の時から演劇をやっていて、宇大に進学してから、地元の演劇団体や宇大の演劇研究会に参加しました。団体ごとの演劇に関する多様な考え方を知り、必要な部分を吸収しつつ、偏らない考え方を身につけていこうと思えるようになりました。課外活動ではありますが、こうした姿勢は授業での学びにも活かされていると思います。

宇野 私は宇大ラーニングサポーターの活動に加わり、他のサポーターが率先して企画の準備などを進めている姿を見て、自分も頑張ろうと思えました。これまでとは異なる新たな環境に身を置くことが重要ですし、大学生だからこそ色々な活動に加わってみて欲しいですね。

黒岩 色々な場所に踏み込み、色々な年齢層の人たちと交流することで、自分とは違うタイプの人ともコミュニケーションが取れるようになると思います。こういう力は社会に出てからも必要でしょうね。

さいごに：新入生へのメッセージ

黒岩 大学ではプレゼンをする機会やレポートを書く機会が非常に多いので、表現力や論理的思考力をしっかり身につける努力を重ねて下さい。とは言え、大学では言われたことだけをやっていればいいわけではありません。宇大には、頑張ろうと思えばいくらでも頑張れる環境があるので、本当にやりたいことをいち早く見つけるといいと思います。

宇野 そうですね。宇大での4年間の学びを通じて、自分が何になりたいかということを実際に考え、自分の「武器」と言えるものを身につけ、自分が誇れるものをつくっていくといいのではないのでしょうか。

宇大で学ぶためのツールを知ろう。

宇大で学修を進めるためには、大学が提供する様々なツールを活用することが欠かせません。ここでは、その中でも特に重要な「教務ポータル」と「C-learning」について紹介します。

大学からのお知らせ／履修登録／シラバス／アンケート／フォーラムなどは

教務ポータル

履修や学生生活に関することなど、大学からの重要なお知らせが日々掲載されています。毎日必ず1回はチェックし、情報を知らなかったことによる不利益を被らないようにしましょう。

- 大学からのお知らせを確認するとき
- 履修登録をするとき
- 授業のシラバスを確認するとき
- 休講情報を確認するとき
- アンケートに回答するとき
- フォーラムを利用するとき

こんなときには
教務ポータルを
チェック！ →



パソコンからアクセスする場合はこちらから▼
<https://kyomu.km.utsunomiya-u.ac.jp/campusweb/>

各授業担当教員からのお知らせは

C-learning

各授業担当教員から、毎回の授業の指示や、課題提出の指示などが掲載されています。教員と学生との様々なコミュニケーションも、C-learningが活用されることが多いので、毎日必ず1回はチェックするようにしましょう。

- 教員からの指示を確認するとき
- 授業の資料を確認するとき
- 課題の内容を確認するとき
- 課題の提出方法や期限を確認するとき
- 教員に質問や相談をするとき

こんなときには
C-learningを
チェック！ →



パソコンからアクセスする場合はこちらから▼
<https://udai.c-learning.jp/s/login/ssosaml>

教務ポータルに 学外ネットワークからアクセスするには

2段階認証が必要となりますので、パソコンから下記URLにアクセスし、画面の指示に従い、ワンタイムパスワードの初回設定を行って下さい。

<https://ent.utsunomiya-u.ac.jp/user/qrsecret.php?st=ga>

宇大に在学中は無料で Microsoft 365を利用できます

レポート作成や表計算、プレゼンテーション資料の作成などに活用できるソフトウェアを無料で利用できます。詳しくは教務ポータル上の案内を参照して下さい。

宇大での 4年間の学び

DP × UU\$TD

みなさんが大学を卒業した後活躍することになる社会では、多種多様な力や知識・技能、さらには教養や知性が必要になります。宇都宮大学では、これらの中から特に重要と思われるものをしっかりと身につけてもらうために、学位授与の方針である「ディプロマ・ポリシー (DP)」のもと、汎用的能力である「宇大スタンダード」を定めています。

みなさんは、ここに記されている力を獲得することを常に意識しながら、宇大での4年間の学びをスタートさせましょう。その上で、授業以外にも様々な経験を積み、社会に力強く歩み出して欲しいと願っています。



宇都宮大学の教育目標

- 1 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力 (宇大スタンダード) を育成します。
- 2 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
- 3 それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

DP

全学共通の ディプロマ・ポリシー (DP)

宇都宮大学は、教育目標に定める幅広い教養と行動的知性を備えた人材を育成するために、所定の期間在学して必要な単位を取得し、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と、所属学部において定める専門分野に関する知識・技能を獲得した者に学位を授与します。

UU\$TD

宇大スタンダードの6つの力

「宇大スタンダード」は、宇大での4年間の学びを通じて獲得すべき6つの汎用的能力を意味しています。これらの汎用的能力は、大学での学びに留まらず、職業や社会生活の中でも活用されることが期待されています。



宇都宮大学は、入学したすべての学生が、6つの力からなる宇大スタンダードと、専門分野に関する知識・技能を獲得した上で卒業できるように教育を行います。

基盤教育から始まる宇大での学び。 大学での学び方を確実に身につける。

大学での学びとはどのようなものでしょうか。基盤教育を通じて、高校までの学びと大学での学びの違いを理解し、自分の学びを自分自身でコントロールできるようにしましょう (学修力)。その際には、主体的に興味関心の幅を広げ、新たな知の世界へと踏み出すことで、自分の強みや足りないものを強く自覚することが重要です。何を学びたいのか、何を学ばなければならないのかを深く理解することが、自身の学びをコントロールすることへとつながっていくはず。このようにして身につけた学修力は、4年間の学びの強力な原動力になります。

1年次



〈学修力〉

一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力。変化に対応し、自らを変えようとする力。

専門分野の学びを本格的に始める。 社会を理解し、社会に発信する力を身につける。

学年が進むと、専門分野に関する深い学びがスタートします。1年次で培った学修力を発揮し、学問の世界や世の中で起きていることについて主体的に情報を集め、知識を身につけていきましょう (情報活用力)。情報や知識をインプットするだけでなく、それをもとに粘り強く思考を巡らせ (論理的思考力)、自分の考えを発信していくことも重要です (表現力)。こうした姿勢は、社会に出た後にも強く求められます。

2年次



〈情報活用力〉

情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力。



〈論理的思考力〉

筋道を立てて論理的に物事を考える力。



〈表現力〉

感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力。

3年次

4年間の学びの集大成としての卒業研究。 大学生活をふり返りその後のキャリアに活かす。

最終年次では卒業研究に取り組みます。その過程で、多くの仲間たちと支え合いながら学びを進めていくことの重要性に気づくでしょう (協働力)。さらには、卒業研究を通じて難問と悪戦苦闘した経験は、その後のキャリアで直面するであろう壁に立ち向かう際に大きな自信を与えてくれます (課題解決力)。就職や大学院進学など、どのような道に進んだとしても、宇大スタンダードの6つの力と専門分野の知識・技能がみなさんを支えてくれるはず。就職・大学院

4年次



〈協働力〉

チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力。多様な人々との繋がりや協働を生み出す力。



〈課題解決力〉

多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力。課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取り組む力。

※本パンフレットでは、宇大スタンダードの6つの力をどの段階までに身につけて欲しいかというイメージを示しています。例えば、「学修力」は1年次の段階で重点的に身につけて欲しいということを示していますが、2年次以降に「学修力」が不要であるということを示すものではありません。また、「協働力」は4年次の欄に記されていますが、4年次になるまで「協働力」を身につけるための取組をしなくていいということを示すものではありません。宇大スタンダードの6つの力は、すべての学年においてしっかりと意識し、学びを進めるようにしましょう。

ルーブリックを活用することで 学修の目標を確認しながら自己評価を行おう。

ルーブリックとは、授業で求められる目標を確実に把握するとともに、それらの目標をどの程度達成できているかを確認することで、今後の学修で必要となる取組を自分自身で理解するためのツールです。皆さんは、まず「基盤教養科目」にてルーブリックを活用することになります。

宇都宮大学のルーブリックは、宇大スタンダードの6つの力に関する達成度を4段階に分け、各段階の基準を文章で表現しています。このようなルーブリックを活用することにより、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身につけたか、しっかりと把握することができるようになります。

ルーブリックの例 (一部省略)

※実際に授業で用いるルーブリックとは異なります。

4段階の達成度				
宇大 STD	4	3	2	1
論理的思考力	資料や情報を効果的に選択することで、自分の考えを論理的に説明している。	資料や情報を示し、自分の考えを論理的に説明している。	自らの考えを矛盾や飛躍なく筋道立てて説明している。	
情報活用力	明確な目的のために十分な量の資料を収集している。	多くの資料を収集し		
表現力	正確な言語表現を用いることで…		…を用いて…	
学修力	自ら進んで知識や能力を身につけるために…	知識や能力を身につけるために…	必要などきにのみ……	
協働力	他の学生と共に活動する際に、自分の役割を理解し…	他の学生と共に、積極的に声を…		
課題解決力	物事を複数の側面から見ることで…	自らの確な問いを立て…	自ら問いを立て…	

6つの力について、4段階のうちどの段階まで達成できているかを考えてみよう。

情報活用力と表現力は十分に身に付いている。自分の強みをもっと伸ばそう。

論理的思考力・学修力・協働力はもう少し伸ばす余地がありそうだ。

課題解決力を伸ばすために、今後の学修計画を真剣に見直す必要がありそうだ。

ルーブリックの活用のコツ

皆さんは、教務ポータルから「基盤教養科目」のルーブリックを閲覧することができますので、右の手順でルーブリックを活用しましょう。なお、教務ポータルは、「宇大を学ぶためのツールを知ろう。」に記載のQRコードもしくはURLからアクセスして下さい。

第1回目の授業

第1回目授業までに必ずルーブリックを閲覧して、授業の目標を把握し、具体的な学修計画を立てる。

授業の中盤

ルーブリックを用いて自己評価を行い、自分の改善点を多面的に把握し、学修計画を修正する。

授業の最終回

ルーブリックにより最終的な達成度を把握し、授業内外で今後実行すべき取組を具体化する。

卒業までに…

卒業までに、宇大スタンダードを十分身につけたと自信を持って言えるようになろう。

悩みや心配事のご相談は

あなたが大学生活を送るうえで、悩みや心配事が起きてしまったときは、お気軽に窓口にご相談ください。相談ごとに応じてサポートします。もちろんプライバシーに配慮し、秘密厳守です。

困ったらまずはこちらに

学生なんでも相談窓口



○峰地区〈学務棟2F〉TEL028-649-5276

○陽東地区〈学生プラザ1F〉TEL028-689-6189

○WEBから

『学生なんでも相談窓口／相談フォーム』に
入力後、送信してください

入力は
こちらから
→



★どんなささいなことでも相談（相談例／日常生活・経済的なこと、対人関係、メンタルヘルス、アクシデント、ハラスメント、その他）

はっきりした相談は各担当へ

修学・履修は

- 指導教員
- 修学支援課 TEL028-649-5090
- 陽東学務課 TEL028-689-6014

進路・就職は

- 指導教員 ○就職担当教員
- 就職・キャリア支援センター TEL028-649-5089

留学、生活、サークルについて

- 指導教員 ○サークル顧問教員
- 留学生・国際交流センター
TEL028-649-8166
- 学生支援課 TEL028-649-5097

健康、メンタル面の悩み

- 保健管理センター TEL028-649-5123

性に関する事

- 男女共同参画推進室 TEL028-649-5151

ハラスメント等の人権侵害の悩み

- ハラスメント相談員
- ★ハラスメントについては
こちらを参照下さい →



学生による 支援活動

『宇大ラーニングサポーター による学びの支援』

先輩学生が新入生（編入生）の様々な疑問や相談にこたえます！履修登録や大学での学修の方法、レポートやプレゼンの方法、さらには授業以外の生活面のことなど、先輩たちの経験に基づいた話を聞くことができます。詳細はQRコードをチェックして下さい。

こちらから
どうぞ→



●学修力



●情報活用力



●論理的思考力



UUSTD 宇大スタンダード

●表現力



●協働力



●課題解決力



← このカードはパンフレットから綺麗に剥がすことができます。常に携帯するか、スマホでブックマーク登録をしておきましょう。